

# 地域活性化に向けた鉄道の 利活用推進シンポジウム

最近の地方都市では人口減少等で公共交通機関の利用者が減少し、鉄道の維持も危ぶまれているものの、JR九州等、話題性のある列車運行の取組や、地元地域で「足」の確保のため各種施策を展開しているところ。

北海道においても今後、各種の取組を導入する際のヒントを、各地の鉄道写真を撮りながら見聞されているフォトライターの矢野直美さんからヒントを得るために開催するものです。



写真提供：釧網本線利活用推進協議会：2010年度ヤングフォト賞千葉英介さん「秋空の下を走る快速しれとこ」

**日時** 平成27年 **10月18日(日) 12:40~15:00**

**場所** **川湯観光ホテル ラピュタホール**  
(川上郡弟子屈町川湯温泉1丁目2番30号)

**参加費 無料**

 **プログラム**

- |             |   |
|-------------|---|
| 12:00~      | 受付  |
| 12:40~      | 開会あいさつ<br>北海道運輸局釧路運輸支局長 中村 行宏   |
| 12:45~13:40 | 基調講演「地域鉄道の魅力について」<br>フォトライター 矢野 直美氏   |
| 13:40~13:55 | 休憩  |
| 13:55~15:00 | トークセッション<br>「地域活性化に向けた鉄道の利活用について」<br>[コーディネーター]<br>(一社)北海道開発技術センター 理事 原文宏<br>[登壇者]<br>フォトライター 矢野 直美氏<br>北海道鉄道観光資源研究会 代表 永山 茂氏 |



フォトライター  
矢野直美(やの・なおみ)氏

国内外を旅しながら写真を撮り、文章を書く「フォトライター」。鉄道旅をこよなく愛することから「鉄子」の愛称でも呼ばれる。「ゆれて ながれて であう 幸せな瞬間」をテーマに、旅と鉄道と鉄道にかかわる人々を写し続けている。各誌で写真作品・紀行文・フォトエッセイの記事を担当しながら、写真コンテストの審査員、テレビ・ラジオといったさまざまなメディアやイベントに登壇。写真集に「汽車通学」(メディアファクトリー)、近著に「タイヤに輝く鉄おとめ」(JTBパブリッシング)、「矢野直美の駅弁旅」(小学館)、「北海道幸せ鉄道旅15路線」(講談社+a文庫)など多数の著書がある。  
公式ブログ <http://yano.oline.jp/>

**【お問合せ】**(一社)北海道開発技術センター 調査研究部(工藤・大井)  
Eメール:pub-tra@decnnet.or.jp TEL:011-738-3363

主催:北海道運輸局 共催:石北本線利活用推進連絡会、釧網本線利活用推進協議会